

リアス・アーク美術館は2024年10月25日に開館30周年を迎えます。本展はそれを記念した特別企画展覧会で、地元高校生を中心メンバーとした「開館30周年記念展企画ワークショップ※」が企画・プロデュースしています。「グラフィックデザイン」を手がかりに、私たちの周辺にあるデザインとデザイナーの思考などに触れ魅力を感じてもらいながら、現在の社会におけるデザインの役割を理解するとともに、デザインを通して当圏域の地域性や歴史、産業などについて考察する展覧会です。

老舗海産物店の旧ラベルの展示解説やパッケージグラフィック作家高橋和真の作品展「昭和レトロ」モチ・昭和家電の展示など全部で6つのトピックを設け、それぞれ独立したテーマでデザイン資料や作品を紹介し、楽しみながらその知見を深める試みします。

展示以外にも、デザイン缶バッジ制作体験やフォトスポットの設置、ミュージアムグッズ販売、レストランロボメニューの提供、さらに今後の「まちづくり」にも視野を広げたトークイベントなどの場を設け、多くの方々にデザインへ親しみを持って関心を高めていただけるよう、多角度から考察できる構成としています。ワークショップメンバーの想いが詰まった展覧会を多くの方にお楽しみいただければ幸いです。

※開館30周年記念展の計画にあたり、圏域住民の声を反映するべく当館学芸員と共同で展覧会の企画・運営を行う仕組みとして、地元高校生を中心メンバーとする展覧会企画ワークショップを立ち上げ、令和4年度から企画の案出、展覧会運営を目的とした活動を実施してきました。ワークショップ内では、様々な提案の中から最終的に「グラフィックデザイン」を基軸とする展覧会企画案が採択となり、その具体的な内容・構成等について考察しながら準備を重ねてきました。本展はこの活動内容を指針として計画・実施するものです。



【展示部門紹介】

Chapter0 デザインってなに？

資料や収蔵品などを用いてデザインとは何か？について解説します。

Chapter1 株式会社横田屋本店 レトロラベルの魅力

当館所蔵の株式会社横田屋本店の商品レトロラベル約80点を展示するとともに、数点をピックアップし各デザインについてデザイナー志田淳氏が解説します。

Chapter2 地元（気仙沼・南三陸）発信グラフィックデザイン大解剖

ワークショップで選出した地元発信の現在の商品パッケージ・ポスターなどのグラフィックデザイン約20点について、デザイナーやデザイン担当者の解説による言葉からデザインコンセプト、思考など見えざる裏側を探ります。

Chapter3 昭和レトロデザインの魅力

昭和中期～後期を中心とした「昭和レトロ」をテーマに、生活を彩った日用品、雑貨類などのグラフィックデザインを主とし、当地域で実際に使用されていた昭和家電なども併せて展示し、一時代のデザインを回顧するとともにその魅力の秘密に迫ります。

Chapter4 高橋和真 パッケージグラフィックの世界観

グラフィックデザインとアートの関係性の観点から、当館と所縁のあるパッケージグラフィック作家＝高橋和真氏※の代表作のほか、「ご当地商品」パッケージを素材とした作品併せて約20点を展示します。

※高橋和真＝1973年新潟県上越市生まれ（在住）。1998年東北芸術工科大学デザイン学部卒業、2000年同大学院芸術学修士課程修了。在学中にパッケージデザインを学ぶことがきっかけに、空海のパッケージデザインを利用したペーパーグラフィック「パッケージグラフィック」を考案。全国各地の美術館や各種施設、イベント等にて展覧会や制作ワークショップを開催し、パッケージグラフィックの普及活動に従事。2003年当館企画展展覧会N.EE02d1 Vol.9にて展覧会を開催した。

Chapter5 グラフィックデザインコンテスト入賞・入選作品展

展覧会に先立ち、開館30周年を記念して実施された当館ミュージアムグッズのデザイン原案のコンテストで入賞・入選した作品23点（グランプリ1点、優秀賞2点、入選20点）を展示します。入賞原案は当館ミュージアムグッズのデザイン原案となり、会期に合わせて販売する予定です。

2024
9
18
WED
10
27
SUN

デザイン
ってなんだ？
グラフィックデザインと
ひと・まち・くらし

開館30周年記念展企画ワークショッププロデュース
リアス・アーク美術館
開館30周年記念展

【開館30周年記念シンポジウム】

「強く優しく美しいまちをデザインする～過去・現在・未来をつなぐ関係構築のために～」

開催日：令和6年9月29日（日）10：00～

会場：ハイビジョンギャラリー

地域とデザインをテーマに専門家を招き、当地域のまちづくりについて考察するトークイベントを実施します。参加無料。
パネルディスカッション パネリスト

谷口大造氏（交通工学大学デザイン工学科 教授）

関口正洋氏（奥能登国際芸術祭プロジェクトマネージャー）

川村清志氏（国立歴史民俗博物館文化人類学・民俗学 准教授）

志田淳氏（memento mori デザイナー/ディレクター 気仙沼市在住）

白田重悠氏（白田重悠デザイン デザイナー 気仙沼市在住）

缶バッジ制作体験

開催日：10月13日（日）11：00～15：00

会場：エントランスホール ※先着順（300名限定）参加無料

ワークショップメンバーのグラフィックデザインを用いた缶バッジ制作体験。どなたでも簡単にデザインが作れます！お気軽にご参加ください！

ノベルティの配布

開館30周年を機に製作した当館オリジナルデザインのクリアファイルや希望者先着30名にプレゼントします。ご希望の方は会場受付係へ「クリアファイル希望」とお声かけください。お一人様お一人様限定1部とさせていただきます。

フォトスポットの設置（エントランスホール）

※会場特典として、館内に設置したフォトスポットにて記念撮影いただけます。SNS投稿も可能です。

開館30周年記念展企画ワークショップの記録展（コモンホール）

令和4年度からスタートしたワークショップの活動の経緯と内容などを関連情報と併せてパネル展示します。

プレ展示「展覧会ポスターに係る30年の歩み展」（エントランスホール）

令和6年8月11日（日）～10月27日（日）

本展開館に先立ち行方プレ展示。これまで制作してきた最大規模展覧会ポスターの中から30点（各年度1点）を厳選して展示し、当館展覧会事業の歩みの軌跡を紹介いたします。

ミュージアムグッズの販売

グラフィックデザインコンテストの入賞作品をデザインしたバッグやマグカップのほか株式会社横田屋本店レトロラベルのステッカーなどを展覧会会期中に販売します。

レストラン「夢の命」とのコラボ企画「昭和レトロメニュー」の提供

本展の展示に合わせて、昭和風ランチメニュー「大人のお子ランチ」と、ドリンク・デザートメニューとして「メロンソーダ・プリンアラモード」を期間限定で提供します。



ご利用案内 ●常設展 ①美術作品展 ②歴史民俗資料展＝舟日記一海と山を生きるリアスなくらしー ③日本最大震災の記録と津波の災害史展 【常設展観覧料】＝成人：700（600）円/小学生：600（500）円/中学生：350（250）円 ※1円内は20名以上の団体料金
●ワークショップ＝土・日を中心に開催するアトリエ ●レストラン「キッチンスペース夢の命」＝地元食材中心の創作料理をご提供。日替りランチ、シーフード系/スナック・カレー・フレンチが人気です。

アクセス

車＝■三陸自動車道（気仙沼中央IC）から約5km（仙台市から約115km/石巻市から約70km/陸前高田市から約25km）■東北自動車道【一関IC】から約50km ●無料駐車場あり（普通37台・大型5台）

JR＝■東北新幹線【一関駅】（大船渡線）－【気仙沼】/東北新幹線【仙台】－【気仙沼線】－【気仙沼】 気仙沼駅からタクシー（約15分）をご利用ください。※タクシー＝割引あり。●専用送迎券引換券の「ネットクーポン券」が気仙沼駅前観光案内所、（一社）気仙沼市観光協会（電話：0226-22-4650）で販売中。※乗換、気仙沼線【仙台～気仙沼】間、大船渡線【盛～気仙沼】間はBRT運行。

〒988-0171 宮城県気仙沼市赤松牧138-5
0226-24-1611
https://www.riasar.com



リアス・アーク美術館
RIAS ARK MUSEUM OF ART